

岩沼出張所つうしん

第 38 号
 平成 16 年 11 月 9 日
 仙台河川国道事務所 岩沼出張所
 岩沼市館下 1 丁目 2 - 9
 TEL 0 2 2 3 - 2 2 - 2 8 0 1

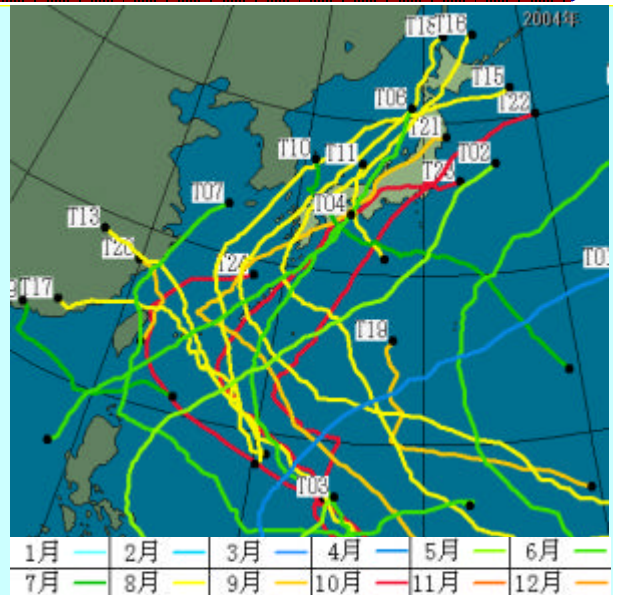
異常気象 台風上陸 10コ

2004年の台風事情は、4月に台風1号が発生して以来、10月末までに24号を数えています。そのうち、10コの台風が日本列島に上陸し、各地に甚大な被害を与えました。

上陸台風の内訳は、6月に4号と6号、8月に10号、11号、15号、16号、9月に18号と21号、10月に22号と23号となっています。

上陸台風10コは、既往最高の数ですが、今年限りで終わりそうな気がしません。地球温暖化の影（陰）が、忍び寄っているのかもしれない。

異常気象の出現が、今後益々増えることが予想されます。宮城県沖地震、直下型地震、台風、集中豪雨等、いざというときに慌てないように、準備しておきたいものです。



2004年 台風経路図

阿武隈川荒浜築堤工事」・工事説明会を開催

11月4日（木）亘理町勤労青少年ホームにおいて、「阿武隈川荒浜築堤工事」の工事説明会を開催しました。関係者、亘理町、岩沼出張所、請負業者総勢15名の説明会でしたが、地元関係者からは、「清掃活動や係船の移動等で全面的に協力するから、残工事延長760mの築堤を一日も早く完成させてほしい。」とする要望が出されました。

なお、工期、請負者は、以下のとおり。

工期： H16.10.15 ~ H17.3.18

請負者： 野村建設（株）



「阿武隈川荒浜築堤工事」・工事説明会の様子

ゲートの水密低下が気にかかる 深川排水樋管

深川排水樋管周辺は、岩沼出張所管内で最も内水被害の発生しやすい場所となっています。そのため、付近には排水ポンプ車の水中ポンプを落とし込むための排水ピットが設置され、樋管と排水ピットは、U型側溝とヒューム管でつながっています。



樋管を操作する加藤さんと水戸 加藤 清志 さん 水戸 正弘 さん 閉開終了！深川排水樋管さんは、「樋管の戸当たり部分とゲートとの水密性が気になる。」また、「樋管と排水ピットをつなぐ、下段ヒューム管に設置してあるフラップゲートを取ってほしい。」といひます。水密性については、我慢できる範囲内ですが、フラップゲートの撤去については、お二人と話し合って結論を得たいと考えています。

河川に関する豆知識 (河川法改正の流れ)

河川法がめざす方向は、時代と共に変わってきました。

1. 旧河川法 (明治29年 4月 8日 法律71)

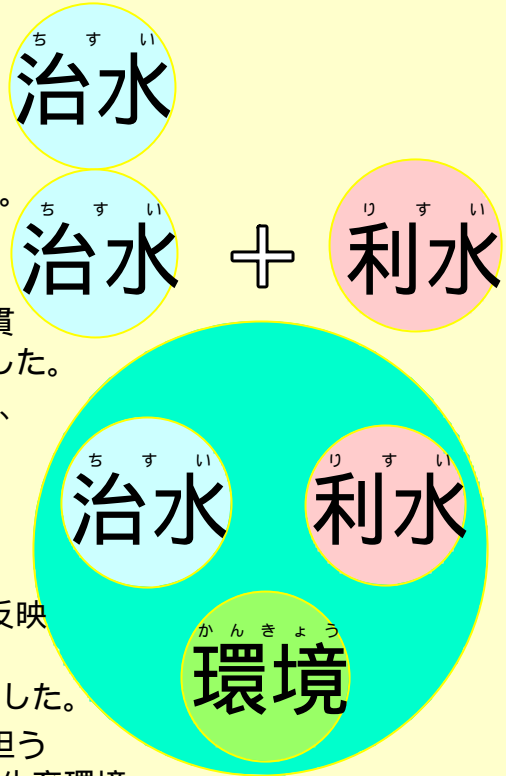
「近代河川制度が誕生」し、「治水」に重点をおいた河川工事等で、水害の防止及び、国土の発展に寄与しました。

2. 河川法 (昭和39年 7月10日 法律167)

「治水・利水の体系的な制度の整備」が行われ、「水系一貫管理制度の導入」を行い、「利水関係規定の整備」を図りました。新河川法の施行により、治水による流域内の資産が増大し、多目的ダムの建設により、水需要が飛躍的に増加しました。

3. 河川法改正 (平成 9年 6月 4日 法律69)

「治水・利水環境の総合的な河川制度の整備」が行われ、「河川環境の整備と保全」が新しく加わり、「地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入」が求められるようになりました。社会経済の変化により、河川は、「治水、利水」の役割を担うだけでなく、うるおいのある水辺空間や多様な生物の生息・生育環境として捉えられ、また、地域の風土と文化を形成する重要な要素として、その個性を活かした川づくりが求められるようになりました。



河川法 第一条 (目的) この法律は、河川について、洪水、高潮等による災害の発生が防止され、河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持され、及び河川環境の整備と保全がされるようにこれを総合的に管理することにより、国土の保全と開発に寄与し、もって公共の安全を保持し、かつ、公共の福祉を増進することを目的とする。

岩沼出張所のしごと (技術係編)



甲谷係長

三ツ谷 史人

岩沼出張所の技術係は、甲谷係長を中心に河川工事等の設計積算と工事監督、出水等に関する水防業務、河川法申請の技術審査等を担当しています。

甲谷係長はまだ就任1年目ですが、工事の経過等を熟知した出張所最古参の三ツ谷技術員と協力して、請負業者等に適切なアドバイスを与え、良好な工事施工をめざしています。また、今年のような台風の襲来時には、徹夜で河川の状況を把握する業務に従事し、災害の防止に努めています。

三ツ谷技術員は、河川、道路、海岸等の技術に精通したベテラン技術者で、請負業者にも信頼が厚く、技術指導に優れた現場技術員で、出張所全ての工事監督を担当しています。

■あとかき■

中越地震災害の被災者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。11月8日に、仙台河川国道事務所として4名の職員と運転手、東北地方整備局全体で32名の職員と運転手が、応援職員として派遣されました。余震等が続く中、大変な任務ですが、被災者のため、精一杯のご活躍を

「岩沼出張所つうしん」はインターネットでも見られます
仙台河川国道事務所ホームページ <http://www.sendai-mlitgojp/>